

『ウェルネスエアー』スギ花粉の低減効果を確認

～より健康的な室内空気環境をご提供～

花粉症原因物質研究の第一人者、王青躍教授により花粉低減機能を確認

株式会社ヤマダホームズ(本社:群馬県高崎市、代表取締役社長:増田文彦、以下ヤマダホームズ)では、この度、空気質改善システム『ウェルネスエアー』に対し、花粉研究の第一人者である国立大学法人埼玉大学大学院・理工学研究科の王青躍(おう・せいよう)教授に初期的な評価実験を依頼。その結果、『ウェルネスエアー』を構成する素材に対し、スギ花粉の低減効果を確認、室内空気質の改善効果が認められました。

これまで『ウェルネスエアー』を施工していただいたお客様から、花粉症改善についてのお声を戴いてはいましたが、王教授独自のノウハウにより、『ウェルネスエアー』を構成する素材の表面特性(micro pore(<2nm)～macro pore(>50nm)まで)の細孔面積分布、細孔体積分布など分子レベルでの特性の解析結果から、その効果を確認することができました。

弊社は今後もさらなる効果及び可能性について研究を進め、身も心も健やかで健康を呼び込む住まいの実現を目指し、産学連携を図りながら、新築事業、リフォーム事業を始め、新たな市場創造に向けて積極的に取り組んでまいります。

【王青躍(おう・せいよう)教授によるコメント】

花粉症原因物質の低減技術の開発研究は自分のために行っているわけではありません。花粉症の症状を抑え、少しでも社会貢献をしたい。子どもたちや、子どもを持つ親御さんなどの多くの国民の花粉症の辛さを軽減し、花粉症によるイライラや不快感を解消したいと思います。

【王青躍教授 プロフィール・研究職歴】

国立大学法人埼玉大学大学院・理工学研究科教授
花粉症原因物質研究の第一人者
2002. 埼玉大学
1997. 国立環境研究所 客員研究員
1996. 安田火災海上保険株式会社・地球環境部顧問
国際善隣協会環境推進センター主席研究員、環境事業部長
1995. 埼玉大学大学院・理工学研究科、工学博士
1992. 埼玉大学大学院・理工学研究科、工学修士



※イメージ

【空気質改善システム『ウェルネスエアー』】

ヤマダホームズは、『癒しと健康』をテーマに心地よい空間創りや健康維持増進をサポートする様々な研究開発を進めてまいりました。その中で、自然素材で調湿・消臭・VOC分解などの空気浄化機能を備えた塗料を寝室などの壁・天井面に塗布し、通電性を活かした、部屋の空気環境をマイナス荷電粒子(いわゆるマイナスイオン)がプラス荷電粒子よりも優位となる室内環境を創り出す空気質改善システム『ウェルネスエアー』の技術開発を推進してまいりました。この『ウェルネスエアー』の技術により創りだされた室内空気質の実験により、平成27年には「NK細胞の活性化(免疫力)が高まる」ことが実証されています。

『ウェルネスエアー』掲載サイト <https://yamadahomes.jp/sxl-structure/comfort.html#index02>

『ウェルネスエアー』過去配信のニュースリリース

<https://yamadahomes.jp/ir/newsrelease/news/20150917.html>



[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社ヤマダホームズ 経営企画室 田中・岡田

TEL:027-310-2244 E-mail:ir-koho@yamadahomes.jp